

分野	No	科目名	曜日時限	学科	担当者	授業の主旨(概要)
国際関係	41	国際法	月 13:35-15:05	国際学科	加々美 康彦	<p>国内法とは妥当する社会基盤の全く異なる国際社会の法について、その全体像を体系的に、しかし重要分野については重点的に検討を行う。また、この授業を通じて、専門論文や判例、条約など文章を読む機会を多く提供したい。なお、本講義(の一部)では、SDGs目標の10, 14, 16に関係する内容を扱う。</p> <p>＜実務経験のある教員等による授業科目＞</p> <p>実務経験内容: 海洋政策に関する民間研究所で勤務。国際法特に海洋法に関する政策提言、国際会議の企画運営、討議参加、普及啓蒙などを担当。</p> <p>授業内容との関連性: 国際社会において現実に生じている問題をめぐる法の運用、政策的側面などを平易に説明する。</p>
	42	グローバルビジネス論	月 13:35-15:05	国際学科	羅 立新	<p>グローバル化の進行につれ、国境を越えたビジネス活動が活発になっている。しかし、科学技術の進歩や、国際関係を日々変化が遂げる中、ビジネス環境や様態もより一層複雑化している中、今こそグローバルの舞台でビジネスに携わる国際事業要員とビジネスマンの育成は急務とされる。一方、大学生たちは将来どんな仕事を就くであろう、グローバル的な考え方を持ち、かつビジネスのことを知る必要があると思われる。外国語能力だけではなく、異文化コミュニケーション力、時代の変化から将来のトレントを掴める能力などが求められる。</p> <p>本講義グローバルビジネスに関する基本的な知識および事例、または国際政治経済の変化についての分析などを通して、これからのビジネスの趨勢をつかめる基本的な力をつけてもらうことを目標とする。</p> <p>本科目は、SDGs学際専攻科目である。SDGs目標のうち、特に目標1, 8, 17に関係する。</p>
全学共通	43	哲学と思考	木 11:15-12:45	人間力創成教育院	三浦 太一	<p>私たちは「人間とは何か?」という問い合わせに対する確実な答を持っているでしょうか。人類の知の発展の中で、人間そのものが常に多くの分野で考察の対象となっています。特に現在、人間と同等、あるいは、それをも超える知的能力の可能性を持った人工知能やロボットの誕生を、私たちは目の当たりにしています。人間と人工知能の本質的な違いはどこにあるのでしょうか? こういった問題を踏まえて、人間、そして、自己自身を考察するための知見を、西洋思想の根幹たる古代ギリシア哲学者プラトンとアリストテレスの著作から学んでいきます。心と身体、知性や狂気といった人間に関わる様々な事柄に対する彼らの思索をたたき台にして、私たち自身の自己理解を磨きます。</p>
	44	哲学と思考	月 13:35-15:05			
現代教育	45	生活環境と人間	金 13:35-15:05	人間力創成教育院	三浦 太一	<p>人間は自分が生活する社会からどのように影響を受け、また、逆に社会をどのように作り上げているのでしょうか? 西洋文化の源流ともいわれる古代ギリシア人の社会の在り方から、この問題を考えていきます。紀元前八世紀から四世紀にかけてのギリシアでは、私たちが現在目にする政治形態、学問、文化の原型が次々と起こってきました。この特異な時代に成立した叙事詩、悲劇、哲学のテキストを検討し、人間と社会の関係を学修します。</p>
	46	生活環境と人間	火 9:30~11:00	人間力創成教育院	大橋 岳	<p>わたしたちの日々の生活はまわりの環境から多くの恩恵を受けている。一方で無意識であっても環境に大きな負荷をかけているのも現状である。環境とうまくつきあっていくにはどうすればいいのか。わたしたちの生活が環境やそこにすむ野生動物にどのような影響を与えていているのかを紹介するとともに、その解決策を考えていく。</p>
経営情報	47	生活環境と人間	火 11:15-12:45			
	48	教育心理学概論	月 11:15-12:45	現代教育学科	三島 浩路	<p>教育心理学は、子どもを発達主体として理解し、その発達を促す教育的働きかけとは何か、心理学的な視点から考える学問である。本講義では、学習や動機づけのメカニズム、学習指導のあり方、教育評価の方法、子どもの多様性、学級内の人間関係など、教育心理学の基礎的知見について理解を深める。加えて、不登校、いじめ等についても議論する。主に1年生を対象とした講義であるため、実践的な方法論を習得することよりも基礎的な理解を身に着けることに重点を置く。</p>
経営情報	49	入門ビジネス英語	金 9:30~11:00	経営総合学科	伊藤 佳世	<p>ビジネスに関する英語実務を実践するために必要な知識及び技術の習得をねらいとし、国際理解を深めると共に、国際社会においてビジネス英語を活用する能力を高める。</p> <p>①国際化とコミュニケーションでは、ビジネスにおける国際化の進展に触れると共に、英語によるコミュニケーションの異議や役割を理解する。日本文化や他国の文化について幅広い視野から理解し、国際協調の精神を育成する。②海外での会話では、海外における一般的日常生活等について触れると共に、基本的な会話を修得する。③ビジネスの会話では、ビジネスの諸活動における外国人との対応、商取引に関する打ち合わせ、会議形式、海外出張手続きについて触れると共に基本的な会話を修得する。なお、商慣習の違いについても学ぶ。④ビジネス文書:ビジネスレター・取引・電子メール等のビジネス活動に関する英文書の読解及び作成並びに電子メールによる英文書の受信及び発信を修得する。⑤国際交渉:国際交渉の基礎を学ぶと共に国際交渉で必要となる基本的な言葉を身につけると共に、実際に模擬的な交渉を行うことで、そのノウハウを身につける。⑥発表:英語で発表する方法について学ぶと共に、実際に発表を行いながらそのノウハウを身につける。</p>
	50	特別講義C	木 15:20-16:50	経営総合学科	伊藤 佳世	<p>SDGsや超スマート社会に関する科学技術やビジネス等のニュース、雑誌記事、学術論文を用いて議論をすることにより、「知的思考力」と、協同的に問題解決をする「社会的能力」を育成する。</p> <p>コミュニケーションに必要とされる能力と技術を習得し、特に客観的な証拠資料に基づいて論理的に議論をするコミュニケーション能力の向上を目指す。</p>
経営情報	51	法学入門	金 15:20-16:50	経営総合学科	久米 一世	<p>現代社会における法の意義と役割を体系的に学ぶために、まず法の歴史的発展を踏まえた上で、個別法領域に関する基礎的な事項と理論を解説する。そして法という抽象的な概念を身近な事象として捉えるために事例を多く紹介し、現在生じている法的問題とその社会背景の関係性について検討する。具体的には、我々の生活に最も密着した法領域である私法分野に焦点を当て、経済環境の変化と法、売買契約と貸借契約、紛争の予防と解決、消費者保護等に重点を置くとともに、経済社会において重要なファクターのひとつである企業についても、株式会社の機関とその責任や法令遵守の在り様について言及する。</p>
	52	法学入門	金 17:05-18:35			
経営情報	53	管理会計論	金 13:35-15:05	経営総合学科	曾場 七恵	<p>この授業で登場する管理会計は、財務会計とは異なり、社長等の経営管理者の計画や管理に役立つ会計情報を提供するために発達した会計領域です。この授業では、財務会計と管理会計の違いを理解したうえで、管理会計の意義や概念、さまざまな技法について歴史から現在までの構造を理論的に学びます。</p>
	54	企業評価論	金 15:20-16:50	経営総合学科	藤井 辰朗	<p>本講義では将来価値や現在価値など、ファイナンスにおける基本的な内容から始まり、NPVなどの投資理論の基礎を中心に学習を進めていく。経営者は企業価値を高めることが責務であるが、企業にどの程度の価値があるかを評価するためには、企業経営の投資・資金調達・配当政策など多岐に渡る意思決定を理解することが必要である。そのため理論のみならず実際の企業の事例なども踏まえながら講義を進めていく。</p>
経営情報	55	アルゴリズム入門	木 9:30~11:00	経営総合学科	白川 智弘	<p>授業の前半ではエクセル VBA によるマクロプログラミングを習得し、今後の実用に足る技術を身に付ける。後半では、前半で習得したマクロプログラミングを用いて、基本的なアルゴリズムを学ぶ。エクセル VBA による簡単なマクロプログラミングの習得、基本的なアルゴリズムに関する理解ができるようにする。</p>
	56	ソフトウェア工学基礎	火 9:30~11:00	経営総合学科	白川 智弘	<p>NoCode ツールを用いて実際に簡単なソフトウェアを作成することにより、プログラミングに依らずソフトウェア工学のエッセンスを学ぶ。</p>